

琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示関連セミナー

「日本のトキの過去・現在・未来－身近な水辺にすむ生き物と人の未来」を開催します

概要

- ・令和8年(2026年)10月17日(土)午後1時より琵琶湖博物館ホールでトキに関するセミナーを開催します。
- ・参加費無料。定員200名。しがネット受付サービスによる事前申込が必要です。

詳細

Nipponia nippon (ニッポニア・ニッポン) の学名を持つトキは、200年前にシーボルトが江戸参府の途中で近江の大野(現在の甲賀市土山町大野)で入手した剥製標本をもとに名前が付けられました。滋賀県には、この他にもトキが生息していた記録があり、江戸時代の近江には多くのトキが生息していたことがうかがえます。

今年の企画展示では、シーボルトが持ち帰ったトキ標本が初めて里帰りをしました。この機会に、かつての日本におけるトキの分布や人との関わり、滋賀県とトキとの関わりについて紹介するとともに、野生のトキの最後の生息地・佐渡でのトキの生態や野生復帰の取組について紹介します。

本セミナーを通じて、身近な水辺に生息するトキの保全のあり方や人との関わり、そして水辺環境のこれからについて考えます。

琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示関連セミナー

「日本のトキの過去・現在・未来－身近な水辺にすむ生き物と人の未来」

【日時】 令和8年(2026年)10月17日(土)13:00~15:30

【会場】 琵琶湖博物館ホール

【主催】 琵琶湖博物館

【プログラム】

13:00 挨拶と趣旨説明「シーボルトがオランダに持ち帰った近江のトキ標本」

亀田佳代子(琵琶湖博物館館長)

13:15 講演1「トキの歴史的分布－近江との関わり－」

尾崎清明(公益財団法人山階鳥類研究所副所長)

14:00 講演2「佐渡島で再導入されたトキの生態」

永田尚志(新潟大学名誉教授)

14:45~15:00 休憩

15:00 パネルディスカッション「トキと人のすむ水辺環境の未来」

15:30 閉会



トキタイプ標本

申込について

申込方法 しがネット受付サービス
申込開始 令和8年（2026年）9月15日（火）
定員 200名（先着順）
参加費 無料



<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure/2536103039660606839>